|  |
| --- |
| 質問事項 |
| 広報やまのうちを拝読し、地球温暖化対策を進めたいという町の意向を知りました。そこで質問です。山ノ内町は温泉の豊かな土壌のため、地熱資源が豊富であると考えられます。地熱発電が全発電量の30％を占めているアイスランドの取り組みを参考にするのはどうでしょうか。地熱発電や温水を利用した暖房の使用など、地熱資源を利用した発電方法を取り入れる計画はありますか？  また、二酸化炭素排出実質ゼロに向けて公用車の電気自動車化をあげられていました。電気自動車は確かに走行中には二酸化炭素を排出しませんが、動力に必要な電気を発電する際に二酸化炭素が排出されますし、電気自動車製造時にも二酸化炭素が排出されるため、トータルで考えると本当に二酸化炭素排出減につながるのか疑問です。また電気自動車のバッテリーに必要なレアメタルを得るための過剰な採掘の問題や、バッテリーの再利用が難しいこと、バッテリー廃棄による環境汚染も懸念されています。地球環境のための取り組みとして公用車の電気自動車化が正しいのか疑問に思います。町としてはどのようにお考えでしょうか？  よろしくお願いいたします |

|  |
| --- |
| 回　　答 |
| 地熱発電につきましては、すでに国内の発電事業者による町内のポテンシャル調査に入っています。今後、発電事業者による事業が進捗するのであれば、地域のニーズも確認したうえで町として連携したいと考えています。  　また、温水を利用した暖房に関しては、平成23年度から「山ノ内町温泉熱利用設備導入支援補助金交付要綱」を定めて、温泉熱を利用した省エネルギー設備等を整備する事業に対して補助金を交付しています。  　公用車のEV化について、質問者様のご提案のとおり、電気自動車の稼働に使用する電力電気については、化石燃料による発電も含まれることになります。また、山ノ内町の気候を考慮すると冬期間の燃料効率も気になるところです。このため、町では電気自動車だけではなく、ハイブリッドやe-powerなど、行政サービスの効率化に適した形を検討しながら、従来型のエンジンと比較してより環境に優しい公用車の運用方法を検討しているところです。 |